資　料　提　供	
令和６年　１１月　２０日	
担　当　課 （担 当 者）	感染症対策センター （衛生環境研究所） （福田、最首）
電　話	0858-35-5411

鳥取県感染症流行情報（速報）

第４６週　［　令和 6 年 11 月 11 日(月）～11 月 17 日(日）　］

【お知らせ】

〇Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報が発令中です。

〇手足口病警報が発令中です。

＜主な定点把握対象感染症＞

疾　病　名	東　部	中　部	西　部
インフルエンザ	△	△	○
感染性胃腸炎	○	○	×
水痘(水ぼうそう)	△	×	△
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	×	×	×
手足口病	★	★	★
ヘルパンギーナ(夏かぜ)	×	×	×
咽頭結膜熱	×	△	○
Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	★	★	★
流行性角結膜炎	×	×	○
マイコプラズマ肺炎	◎	◎	○
伝染性紅斑	△	×	○
ＲＳウイルス感染症	×	×	△

★　警報発令中

◎　流行している　　○　やや流行している

△　散発　　　　　　×　患者発生極少又はなし

＜新型コロナウイルス感染症＞

地　区	東　部	中　部	西　部	合　計	全国(第 45 週)
患者数（人）	12	18	3	33	
定点当たり患者数	1.00	3.00	0.27	1.14	1.47
流行情報	―	―	―		

○注意レベル：　定点当たり 10 人/週　（今後の感染拡大に注意が必要と考えられる段階）

◎警戒レベル：　定点当たり 20 人/週　（感染者数の加速度的な増大のおそれがある段階）

【コメント】

1　インフルエンザは、全地区で患者報告数が増加しています。先週に引き続き県内における定点当たりの患者数は、流行開始の目安となる 1 を超え、特に西部地区で急増しており注意が必要です。

2　Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報が発令中です。引き続き注意が必要です。
3　手足口病警報が発令中です。引き続き注意が必要です。
4　マイコプラズマ肺炎は、東部及び西部地区で患者報告数が増加し、東部及び中部地区で流行しています。今後、流行が拡大するおそれがあるので、注意が必要です。
5　新型コロナウイルス感染症は、東部及び中部地区で患者報告数がやや増加に転じており、注意が必要です。
6　定点における患者報告数（「流行している」と判定された疾病または、20 件を目途に報告数が多い疾病）；

・感染性胃腸炎（87 件）
・インフルエンザ（81 件）
・Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎（70 件）
・手足口病（36 件）
・新型コロナウイルス感染症（33 件）
・マイコプラズマ肺炎（12 件）

病　名	特　徴	予防のポイント	
		個別事項	共通事項
インフルエンザ	38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身症状を特徴とするインフルエンザウイルスの感染によって起こる感染症です。 子ども、ご高齢の方、免疫力の低下している方は、重症化することがあります。	・マスクを着用するなど咳エチケットを心がけましょう。	・特に流行時には手洗いをしっかりしましょう。 ・症状があった場合は、早めに医療機関を受診しましょう。
Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	発熱と咽頭痛、発疹等の症状がみられる細菌による感染症です。まれに重症化することもあり、小児だけでなく成人でも発症します。		
手足口病	口腔粘膜および手や足などに現れる水疱性の発疹を主症状とした急性のウイルス感染症で、幼児を中心に夏季に流行が見られます。	・流行時に手指の消毒を励行しましょう。 ・タオルなどは個人用としましょう。 ・排泄物の適切な処理を行いましょう。	
マイコプラズマ肺炎	「肺炎マイコプラズマ」によって起こる呼吸器感染症です。 発熱や全身のだるさ、頭痛、痰を伴わない咳などの症状がみられます。咳は少し遅れて始まることもあり、熱が下がった後も3〜4週間続くのが特徴です。	・タオルなどは個人用としましょう。 ・マスクを着用するなど咳エチケットを心がけましょう。	
新型コロナウイルス感染症	発熱、咳、全身倦怠感等の感冒様症状を主症状とする新型コロナウイルスの感染によって起こる感染症です。 頭痛、下痢、結膜炎、嗅覚障害、味覚障害等を呈する場合もあります。 ご高齢の方、基礎疾患を持	・手指消毒、換気の徹底、場面に応じたマスク着用などに心がけ、特に高齢者と接する場合などは、体調を整えるようにしましょう。 ・重症化リスクの高い方は、近接した会話や混雑した場所を避けることが	

	つ方は重症化するリスクがあります。	有効です。 ・感染の不安があり受診される場合は、医療機関へ事前に電話連絡の上、指示に従って受診しましょう。	

※咳エチケット：咳、くしゃみが出る場合には、ティッシュ、ハンカチなどで鼻や口を押さえ飛沫を飛ばさないようにすること

鳥取県感染症発生動向調査情報（週報）

第46週 ［ 令和6年11月11日（月）～17日（日） ］

（地区別）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和6年11月20日 作成　　　　（件）

		東部		中部		西部		合計			県内1定点当		全国1定点当
		46週	前週比	46週	前週比	46週	前週比	46週	45週	前週比	46週	45週	45週
インフルエンザ/COVID-19定点数		12		6		11		29					
1	インフルエンザ	5	167%	10	250%	66	236%	81	35	231%	2.79	1.21	1.06
2	新型コロナウイルス感染症	12	133%	18	257%	3	27%	33	27	122%	1.14	0.93	1.47
小児科定点数		8		4		7		19					
3	咽頭結膜熱	0	－	1	100%	4	100%	5	5	100%	0.26	0.26	0.22
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	43	100%	7	100%	20	83%	70	74	95%	3.68	3.89	1.68
5	感染性胃腸炎	53	189%	21	68%	13	186%	87	66	132%	4.58	3.47	2.45
6	水痘	1	－	0	－	1	－	2	0	－	0.11	0.00	0.19
7	手足口病	16	100%	11	61%	9	33%	36	61	59%	1.89	3.21	5.74
8	伝染性紅斑	1	－	0	－	7	350%	8	2	400%	0.42	0.11	0.36
9	突発性発疹	0	0%	0	－	0	0%	0	5	0%	0.00	0.26	0.23
10	ヘルパンギーナ	0	－	0	－	0	－	0	0	－	0.00	0.00	0.12
11	流行性耳下腺炎	0	－	0	－	0	－	0	0	－	0.00	0.00	0.03
12	RSウイルス感染症	0	－	0	－	1	－	1	0	－	0.05	0.00	0.24
眼科定点数		2		1		2		5					
13	急性出血性結膜炎	0	－	0	－	0	－	0	0	－	0.00	0.00	0.01
14	流行性角結膜炎	0	－	0	0%	3	300%	3	3	100%	0.60	0.60	0.45
基幹定点数		2		1		2		5					
15	細菌性髄膜炎	0	－	1	－	0	－	1	0	－	0.20	0.00	0.02
16	無菌性髄膜炎	0	－	0	－	1	50%	1	2	50%	0.20	0.40	0.04
17	マイコプラズマ肺炎	5	167%	5	63%	2	200%	12	12	100%	2.40	2.40	2.43
18	クラミジア肺炎（オウム病を除く）	0	－	0	－	0	－	0	0	－	0.00	0.00	0.00
19	感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る。）	0	－	0	0%	0	－	0	1	0%	0.00	0.20	0.01
合計		136	145%	74	103%	130	130%	340	293	116%			

※中部の19の件数は、5の再掲（基幹定点が小児科定点と共通のため）。

第46週の感染症発生動向調査情報について

1 インフルエンザは、全地区で患者報告数が増加しています。先週に引き続き県内における定点当たりの患者数は、流行開始の目安となる1を超え、特に西部地区で急増しており注意が必要です。

2 Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報が発令中です。引き続き注意が必要です。

3 手足口病警報が発令中です。引き続き注意が必要です。

4 マイコプラズマ肺炎は、東部及び西部地区で患者報告数が増加し、東部及び中部地区で流行しています。今後、流行が拡大するおそれがあるので、注意が必要です。

5 新型コロナウイルス感染症は、東部及び中部地区で患者報告数がやや増加に転じており、注意が必要です。

6 定点における患者報告数（「流行している」と判定された疾病または、20件を目途に報告数が多い疾病）；

・感染性胃腸炎（87件）
・インフルエンザ（81件）
・Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎（70件）
・手足口病（36件）
・新型コロナウイルス感染症（33件）
・マイコプラズマ肺炎（12件）